



第2790地区ガバナー 山田 修平 第6分區ガバナー補佐 寺田 憲司
平成23年8月18日発行 NO.1977 第2105例会 会長 小林 定雄 幹事 伊藤 元雄 会報担当 安藤 卓造

例会報告(平成23年8月18日)

点 鐘 会 長 小林定雄
ソ ン グ 「それこそロータリー」
唱 和 「四つのテスト」
会 長 挨拶 会 長 小林定雄
会 務 報 告 会 長 小林定雄
幹 事 報 告 幹 事 伊藤元雄
プログラム
お客様 東金RC 市東弥寿雄様
各委員会報告
卓話 (地区増強委員 越川博光会員)

会長挨拶



みなさんこんにちは。
毎日猛烈な暑さが続いております。例会も2週間ぶりですが皆様おかわりなかったでしょうか。お盆休みもあけて普段の生活に戻られたと思いますが、私は職業柄お盆中は忙しかったものですから少々夏バテ気味の状態です。
本日は地区会員増強委員の越川博光様に会員増強についての卓話をお願いいたしました。よろしくお願ひ致します。

今年はこの暑さで昨年に比べ熱中症で救急搬送される方が多いそうです。熱中症は特に体温を調節する機能が低下した高齢者がかかりやすく、また、屋外だけでなく屋内でも発症します。又、熱中症対策には水分と塩分の補給が必要ですが、ペットボトル症候群という言葉がありまして、糖分を含む清涼飲料水を大量に摂取すると、急激に血糖値が上昇して危険な場合もあるそうです。特に糖尿病予備軍の方や若年男性は注意して頂きたいと思います。

又、今月は会員増強月間です。ガバナー月信の中でガバナーは「ロータリアンの三大義務は会費の納入、例会出席、ロータリー誌の購読ですが、それに加えて会員増強も義務と言われています」と述べております。会員皆様には8月だけでなく年度を通じて会員増強に取り組んでいただけたらと思いますのでよろしくお願い致します。

来週の例会は秋葉会員のところで夜間例会です。例会終了後、露崎会員の入会歓迎会と納涼バーベキュー大会ですので皆様のご参加をお願いします。

8月の誕生祝



左から
森川忠会員 / 杉森幹男会員 / 小林会長 / 古西弘和会員

■ 会務報告

8月7日（日）

地区R財団セミナーが京葉銀行文化プラザにて開催されました。鈴木R財団常任委員長と高田米山記念奨学会委員長の2名で出席しました。

8月20日（土）

地区国際奉仕セミナーが成田ビューホテルにて10:00点鐘。会長、市原国際奉仕委員長が出席予定です。

8月26日（金）

第6分区第2回会長幹事会が6:00よりあづま庵にて

8月27日（土）

地区米山記念奨学会委員会セミナー
千葉商工会議所にて 2:00点鐘
高田米山記念奨学会委員長 出席予定

9月1日（木）

ガバナー公式訪問
クラブの公式行事ですので出席をよろしくお願ひ致します。

■ 幹事報告

①例会変更のお知らせ(回覧)

- ・佐原RC
- ・銚子RC



②会報受領クラブ

- ・銚子RC
- ・成田コスモポリタンRC
- ・旭RC
- ・多古RC

③ハイライトよねやま137号(2011年8月10日発行)が届いております。

④米山梅吉記念館館報(2011年秋号Vol. 18)が届いております。

⑤委員会開催のお知らせ

- ・クラブ広報委員会
例会終了後、富士屋1階にて
- ・クラブ管理運営委員会
例会終了後、富士屋1階にて

⑥お知らせ

来週の夜間移動例会（なんじゃもんじゃ）はロータリー事務所よりバスが出ます。

■ 委員会報告

◇ R財団委員会



常任委員長 鈴木 恭一

至8月7日 千葉市京葉銀行文化プラザにおいて、ロータリー財団委員会地区セミナーが開催されました。高田一行米山記念奨学会委員長と私鈴木で、出席してまいりました。

セミナーは山田修平ガバナーの挨拶で始まり、地区研修リーダー・崎山パストガバナーの挨拶、そして川原地区ロータリー財団委員長の今年度の基本方針も「ロータリー財団を分かりやすく、身近なものに」の挨拶が続きました。その後ロータリー世界フェローシップの山崎敬生様、平塚広義様の「ロータリー平和フェローシップ制度、そして活動状況」の講演がありました。

また、寄付金小委員会より「私たちは寄付することによって世界中の奉仕プロジェクトに間接的に参加しています」というロータリー財団の6つの重点分野が示されました。特に力を注いでいるのがポリオ撲滅キャンペーンです。目標の2億ドルに対して、本年4月時点で1億6800万ドルを達成しているそうです。

重点分野ですが

①母子の健康の分野 ②水と衛生設備の分野 ③疾病予防と治療の分野 ④基本的教育と識字率向上の分野 ⑤経済と地域社会の発展の分野 ⑥平和と紛争予防／紛争解決の分野があります。

財団の寄付の種類として

①年次寄付 ②恒久寄付 ③使途指定寄付があります。

年次寄付は今日の財団のプログラムを支え、恒久寄付は明日のプログラムを安定させるものです。

2790地区の今年度目標は

◇寄付金ゼロクラブの解消 ◇E R E Y100\$ 毎年あなたも100ドルを！ を目標にかかげています。今年度地区で利用できる財団活動資金は、山田ガバナー年度の場合 163,677ドルが資金枠だそうです。9/30日、締め切り前にぜひ補助金の申請をして下さい。とのことでした。

「ロータリー財団を知れば、ロータリーが見える」と言われていますが、経済状況が厳しい中、財団として少しでも貢献できるよう地区財団委員会より卓話者をお願いし、年次寄付最低目標額を達成できるように努力します。各テーブルに配布いたしましたセミナーの資料に目を通してください。

今年度のロータリー財団への寄付は、恒久基金（ベネファクター）に椎名鎌一郎会員と、年次プログラム基金（マルチプルポールハリスフェロー）に私、鈴木が寄付をさせていただきました。

以上で報告を終わります。

◇ クラブ広報委員会



常任委員長 河野 和夫

お願いがあります。会員1名につきお一人の会員候補者の紹介をお願いしております。現在13名の候補者にロータリーの友を送っております。できれば会員候補者を20名にしたいと思っておりますので、ぜひお願い致します。

本日例会終了後、富士屋さん1階でクラブ広報委員会を行いますので、関係の方、以外の方でも参加できる方はぜひお願い致します。

◇ クラブ管理運営委員会



常任委員長 古西 弘和

9月1日（木）ガバナー公式訪問があります。準備の為、本日例会終了後に富士屋さん1階で委員会を開きます。SAA、出席、親睦、プログラム担当の方々は出席をお願い致します。時間のある方は30分位で終わると思いますので出席お願い致します。

■ 山武市やっさまつりのご案内

8月20日（土）9:30～

東金市役所周辺特設会場で行われます。

市役所で行うのは今年最後となりそうですので、ぜひお越し下さい。



東金ロータリークラブ 市東弥寿雄様

■ 卓話

「 会員増強について 」



地区会員増強委員 越川 博光会員

こんにちは。私は2790地区会員増強委員を仰せつかっております。本来ならば宮本増強委員長がこの例会で卓話をすべきですが、本日は私がお話をさせていただきますと思います。

7月23日に開催いたしました地区奉仕委員会増強セミナーに、小林会長、河野広報・IT委員長のご出席をいただき無事に終了することが出来ました。今日の卓話はセミナーで話し合われたことを中心に話をさせていただきます。

会員増強は一朝一夕にして達成されるものでないことは明らかで、会員増強のためのエキスパートはどこにも存在しません。しかし会員増強なくしてはロータリーの未来は語れません。本日の卓話が今月の会員増強月間に向けて、会員増強に役立つようご祈念申し上げます。

2790地区のロータリークラブは84クラブあり、会員

数は2010年7月1日の時点で2773人でしたが、2011年5月末日の会員数は2808人で、なんと35人の増強でした。今まで減少を続けてきた会員数がここにきて歯止めがかかり、10数年ぶりに2011年は増員となることを期待して、6月末日（これは2011年7月1日）の各クラブからの報告を待っていましたが、

（7月12日にガバナー発表）残念ながら2011年7月1日スタート時点の会員数は2709人となり、2010年7月1日の2773人より64人の減員となりました。5月末日には2808人の会員が6月末日の1ヶ月間で99人が退会されました。

この現象は毎年繰り返されておりましたが、今回がここ数年で最高の退会者数となりました。残念でありません。「どうしたら退会者を減らすことができるか」この問題について真剣になって考えて頂きたいと思います。この次期、会員の増強は大変厳しい時だけに何としてもこの退会者を「一人でも減らすことが出来たら」と思うのは私だけではないと思います。

第2790地区の各クラブの会員数の平均は33.4人となり、84クラブのうち会員数33人以上のクラブが37クラブで、残り47クラブが33人以下でした。

日本のクラブ会員数の平均は39.2人で世界で8位（スイスが57.9人で1位）となっております。私達の2790地区も6位のオランダやデンマークの40人に増やしていきたいと思います。因みに（第5位のアメリカは45人です）ここまで増強できたら最高だと思います。

まず最初に過去5年間（2007年～2011年6月末日）の会員の推移を見てみますと、5年前より会員が増えたクラブは84クラブ中15クラブでした。一番増員が出来たクラブが松戸RCの10人が最高で、柏RCの9人、習志野中央RC・成田RCが8人と続きます。この4クラブの特徴をみて見ますと、毎年退会者数より新入会員の方が1～2名程度多く入会されております。この4クラブの会員増強は大変参考になるだろうと思います。

さて、5年間で増減して、10人以上が減少したクラブが11クラブでありました。特に銚子東RCの21人が最高でした。

次に今年度の各クラブの会員増強の目標数をアンケートで示して頂きました。その結果ほとんどのクラブが山田ガバナーの提唱した10%の増員に向けて頑張ってもらっております。当クラブにおいては、純

増2名は確保したいと思っております。それぞれのクラブに事情があろうかと思いますが、残念なことに目標が低いクラブが3クラブ（市川東RC・千葉RC・成田空港南RC）ありました。どうか私達の立てた目標に向かって実現できますようご協力をお願い致します。

次に各クラブの会員増強（拡大）委員会計画書から貴重な意見を抜粋いたしました。

- ・女性会員の入会を積極的に務める。

当クラブは、女性会員が0ということですのでぜひ女性の入会を勧めたいと思います。

- ・退会者の防止に努める。

新入会員を勧誘するのと同じくらいエネルギーを注ぎ会員の維持に務める。

- ・会員増強プロジェクトチームを編成し、各班に分かれて全員で増強にあたる。

- ・会員増強例会をもうける。この日は全てが会員増強について行う日である。他のことは一切やらない。

- ・8月の増強月間は全ての事業（社会奉仕・広報・親睦）を増強のために開催する月とする。全員が増強について意識を持って行動する。

- ・増強に関するクラブフォーラムを例会にて行う。

- ・昨年度に勧誘した人材に対して今年度も継続して勧誘する。

等ですが、まだまだたくさんのすばらしい活動計画がありました。

千葉港RCの活動計画は

- ①クラブ内ではクラブフォーラムを積極的に行う。

例えば前期4回、増強のためのクラブフォーラムを計画・実行しています。

- ②3組の増強チームを作る。例えば5組のチーム

（全員参加）で会員増強を行い、1名入会するまでは毎例会で報告させました。

- ③入会者の有力者を誘い、炉辺会談を行う。飲食をともにして熱心にロータリーの話をして勧誘した。

他のクラブを見てみますと、市川RC・千葉北R

C・多古RCのように●クラブ最重要課題として取り組み、増強委員長を中心として会員全員で増強を周知徹底して行い、クラブとしての活動方針を本年度は「会員増強」にした。となっています。

●会員増強プロジェクトチームを編成。クラブ内では増強のためのフォーラムを開催し情報交換を積極的に行っているクラブもあります。

そして注目するのは●ケーブルテレビ・タウン誌またはホームページ上でロータリーの情報を提供して、新入会員の発掘に寄与するクラブもありました。

八千代中央RCが●八千代市の第一号の女性ロータリアンの誕生に務めると書かれています。

是非、実現して頂きたいと思います。合わせて当クラブも頑張っていきたいと思います。

今の日本経済の不況の中で会員増強の厳しさは今日ここにお集まりの皆様全員が認識しているとおりであると思います。

10年前の2790地区会員数が3790人でしたが、この6月末日の会員数は2709人となりこの10年間で1081人を失いました。2790地区の1クラブ平均会員数が33.4人ですから、なんと約32のクラブが喪失したことになります。何としてもこの状況から抜け出し歯止めをかけなければなりません。

今までのセミナーは、このようにして会員拡大やクラブの運営及び会員増強について勉強や講演などを催されてきましたが、今回のセミナーは「どうすれば退会者を減らすことができるか」という問題について皆様方とグループに分かれてディスカッションをしてもらいました。ディスカッションの内容については全国会員増強セミナーで講演された「2740地区佐藤豊氏のロータリーの輝く未来 会員増強が源」をテーマにして行っていただきました。

ここに書かれている真の会員増強について、裏を返せばこの問題が解決すれば退会者も減らすことが出来るのではないのでしょうか。

- 1つには、会員減少の問題点
- 2つには、会員減少の第2の原因
- 3つには、会員減少に類する問題点
- 4つには、会員減少に類するその他の問題点

この4つの問題点の1つ目の会員減少の問題点について述べさせていただきます。

退会者がここ10数年、毎年当地区でも100名前後の会員が退会しています。まず退会される原因をさぐってみますと、

・世界と日本全域に不況に伴う不安定・不透明な経済環境

- ・会員の高齢化
- ・事業の合理化より、職務多忙になり、例会に参加できない
- ・例会の時間が合わない
- ・会費が高い
- ・ロータリー情報不足。ロータリーの魅力がわからない、理解不足（これによる失望感・期待はずれがおき、入会3年未満の退会者が多い）
- ・ロータリーが本来持つ、ステータスや魅力にかけりが発生しているのでは？

私が今から27年前ロータリークラブに入会した時、「私もロータリーに入会できた」と感動したことを覚えています。ロータリーの魅力はどうなっているのか、活力を与えるものは何か？ ロータリーの魅力はなんといっても、すばらしい仲間と全てを話し合える例会にある。一週間仲間と会えないと寂しい思いがする。二週間会わないと心配になる。そんな雰囲気クラブが私は望ましいと思っています。

2つ目の会員減少の第2原因となるものとして

- ・クラブ会長の会員増強に対するスイッチがONでない（クラブのトップが自ら行動する事が大事である）
- ・クラブ会長・幹事は奉仕活動に優先順位があり、会員増強の順位向上が出来ていない（千葉北RCでは本年度の活動方針を「会員増強」とし全会員が参加し入会をしやすくするため、入会金を半額にした）
- ・炉辺会議の不足（この行動の不足により親密な人間関係が築けない。ロータリーの過去の歴史や現在・あるいは将来を、時間を気にせず語り合う機会が失われつつある）
- ・会員増強は誰かがやってくれるという「他力本願」的な考えに支配されていないか（また会員増強の難しい原因の中に、それぞれのクラブが、会員が減少しても自分たちのクラブに影響がないと思っている会員が多くなったことである）

3つ目の会員減少に類する問題点

- ・8月の会員増強月間で提唱された熱意が持続できない（8月の増強月間の時だけは、クラブフォーラムを開催したり積極的に活動するが、この8月が過ぎるとだんだん熱意がさめてくる。私は上期・下期に分けて少なくとも年4回くらいフォーラムを開催してほしいと思います。）

・クラブ会長・幹事が会員増強について具体的な方針や計画を持たない

その結果、熱意・使命感をもって訴えつづけられない（7月23日のセミナーにおいて時の会長が会員増強の全てであるといいきったクラブもありました）

・クラブ奉仕関連、会員増強セミナーなどで学んだことがホームクラブに伝授されていない

「委員会報告」で発表して終り。義務的な出席、資料を受け取って自己満足

会員増強に反映されない（ぜひ皆様に議論をして下さい）

・クラブ運営の理事役員において会員増強の年間を通した長期的展望が無い

（これについては会員拡大専門の副会長を作って3年任期でやったらどうか？会員増強に関して権限をもたせて活動する）

4つ目の会員減少に類するその他問題点

・女性会員への理解不足 入会に拒否反応を示す会員がいて女性会員の入会について積極的に推進しようという雰囲気づくり、理解を深めようとする努力の欠如がある（女性経営者の増加、女性だからこそできる職業分類上の増大、女性会員が入会されることによる効果など、計り知れないものがあります。入会を勧めるにあたってテキストのなる具体的な資料が少ない（入会のしおり）

・新しい会員にロータリーへの理解を助ける具体的な資料が無い（特に入会3年未満の会員向け）

（いつも感じるがこのようなセミナーは会員増強についての話や文章はあるが、具体的な内容や会員増強の方法などが発表されない。こんな意見が7月23日の増強セミナーで発言がありました）

私が冒頭で述べましたとおり、会員増強には「これ」といわれるルールはありません。まして会員増強のエキスパートはおりません。当クラブが全員で危機感を持って会員増強に邁進していただけることを期待し、卓話を終了させていただきます。

ニコニコボックス

市東弥寿雄様（東金RC）

…無事幹事終了しました

ありがとうございました

青柳誠君

…米によい値がついて景気が良くなりますよ
うに

越川忠君

…新盆にお出でいただきありがとうございます
した

行木英夫君・安藤卓造君

…市東さんようこそお越しくださいました

森川忠君・古西弘和君・杉森幹男君

…誕生祝いありがとうございました

小林定雄君

…お盆休みお店が忙しかったです

越川博光君

…本日卓話をさせていただきました

河野和夫君

…明日から涼しくなるそうでニコニコです

本日計	22,000円
累計	125,000円

出席報告

例会日	会員数	出席	MU	%
8月18日	41	30	2	78.05

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆

